APAC BESS FINANCE INTELLIGENCE 無料公開

週次リサーチ · W42 · APAC横断

長期契約が蓄電池ファイナンスの土台、価格スパイクは上乗せ

今週NSWの電力価格はA$23,107/MWhまで急騰しましたが、実際に案件を前進させたのは契約でした。SummerfieldはOriginとの10年オフテイクを伴って試運転に入り、NSWは1.5 GWのファーミング入札向けにLTESA契約を設計、フィリピンの規制当局は5年の蓄電池予備力契約を承認し、日本の野津案件はLTDA契約を土台に設備供給を確定させました。

対象期間 **2026/10/12 – 10/18**　発行 **2026/10/19（月）**　市場 **豪州 · 日本 · フィリピン · 韓国 · シンガポール · 台湾**　データ確認 **2026/10/27**

今週の主要判断

4つの結論

1. **NSW：スパイク収益は実在するが、返済原資にはならない。**10/12午後、熱波で需要が1時間で約2,000 MW増加する一方、約2,400 MWの石炭火力が使用不能となり、スポット価格は一時A$23,107/MWhに達しました。この種の収益は予測が難しく、貸し手は通常、返済キャッシュフローに算入しません。[1]
2. **豪州：大型蓄電池は引き続き長期契約で実現。**Summerfield（240 MW/960 MWh）はOrigin Energyとの10年オフテイクを伴い試運転入り。Lower Wonga太陽光＋蓄電案件（蓄電池281 MW/843 MWh）はCISの支援とRio Tintoのハイブリッド・オフテイクを併せ持ちます。[3]
3. **NSW：8時間要件が競争の構図を変える。**ASLは1,500 MWのファーミング入札について意見募集を開始。最低8時間の連続出力とLTESA契約が条件です。2〜4時間の蓄電池はこの種の入札で不利で、ガスと長時間蓄電の競争力が高まります。[4]
4. **フィリピンと日本：規制下の契約が収益を予測可能に。**ERCは5年・PHP 5.28/kWhの蓄電池予備力契約を暫定承認。日本の野津案件は20年LTDA契約とあおぞら銀行のノンリコース融資に続き、Trina Storageからの供給を確定させました。[2,6]

主要数値

今週の6つの数字

NSWスポット価格ピーク（10/12）
A$23,107/MWh
11の5分インターバルでA$5,000超

Summerfield 蓄電池
240 MW / 960 MWh
Origin 10年オフテイク · 試運転入り

NSW ASL ファーミング入札
1,500 MW
連続出力 ≥ 8時間 · LTESA

フィリピン・ビサヤ蓄電池予備力契約
PHP 5.28/kWh
5年 · 予備力スポット平均約PHP 21

AGL Abermain 蓄電池（クイーンズランド）
500 MWh
連邦EPBC環境審査に付議

日本 野津案件
50 MW / 196 MWh
2028年第3四半期完工

今週のタイムライン

何が起きたか

日付	市場	出来事	ファイナンス上の意味
10/12	AU	NSWスポット価格がA$23,107/MWhでピーク。約2,400 MWの石炭火力が使用不能、技術的出力抑制のピークは2,800 MW。約3万世帯の家庭用蓄電池が2時間でA$200万を稼ぐ。[1]	スパイク収益は存在するが予測不能で、返済能力に算入すべきではない。
10/12	PH	ERCが10/9の暫定承認を公表：NGCP–EAUCの44.72 MW蓄電池予備力契約、5年、PHP 5.28/kWh。[2]	規制当局が承認した蓄電池の容量型収益の初の事例。
10/14	JP	Trina Storageが野津50 MW/196 MWh案件にElementa 2 Proシステムを供給。[6]	LTDA案件の設備・完工リスクがさらに確定。
10/15	AU	ASLがNSW 1,500 MWファーミング入札の意見募集（10/13–11/4）。≥ 8時間、LTESA契約が条件で、入札開始は2027年初めの見込み。[4]	長時間化の要件が蓄電池の構成と入札戦略に影響。
10/15	AU	Summerfield 240 MW/960 MWhが試運転入り（Origin 10年オフテイク）。GotionがLower Wonga（281 MW/843 MWh）に供給。[3]	長期オフテイクは引き続き大型蓄電池ファイナンスの主流構造。
10/16	AU	ビクトリア州がHazelwood BESS Line Coを送電事業者に認定。ENGIEの150 MW/300 MWh増設は構内送電設備を再利用可能に。[5]	石炭火力跡地の系統接続条件が希少資産に。
10/16	AU	AGLがクイーンズランド州の500 MWh Abermain蓄電池を連邦EPBC環境審査に付議。[7]	大手小売事業者が自社蓄電池の拡充を継続。

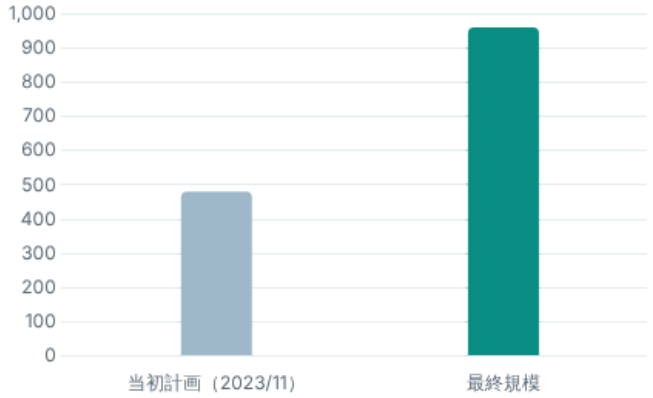
豪州

契約が実現し、スパイクは補完

確認済みの事実

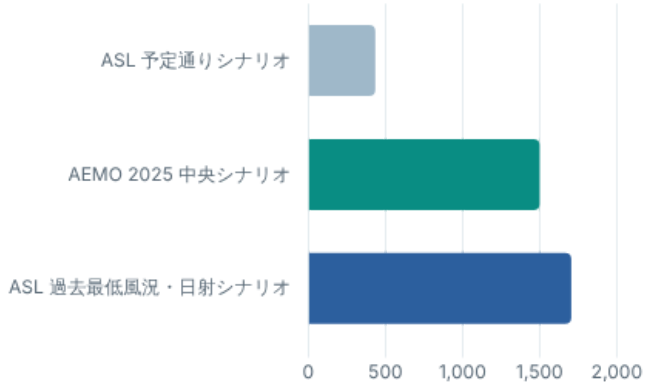
- 10/12の15:30頃（AEDT）、NSWスポット価格は市場上限に近いA$23,107/MWhに達しました。熱波でシドニーの気温は34.7°Cとなり、需要は1時間で約2,000 MW増加。石炭火力12基のうち4基が停止、2基が出力低下。[1]
- Summerfield：南豪州Mannum近郊、240 MW/960 MWh（当初計画の480 MWhから倍増）。EPCはe-STORAGE、Origin Energyとの10年オフテイク。2026年4月、PalisadeがCIPから100%を取得することで合意、価格は非開示。[3]
- Lower Wonga：クイーンズランド州Gympie近郊、太陽光380 MWdc＋蓄電池281 MW/843 MWh。CIS支援、Rio Tintoのハイブリッド・オフテイク、2028年末商業運転。[3]
- ASL 1,500 MWファーミング入札：最低8時間が条件。AEMOの2025年エネルギー安全保障目標モニターの中央シナリオでは2033–34年に約1,500 MWの不足。意見募集は11/4まで。[4]
- Hazelwood：既存150 MW/150 MWh（2023年6月運開）、増設150 MW/300 MWh、2028年完工予定。[5]

Summerfield 蓄電容量の見直し（MWh）



当初計画は2023/11発表。出典：Energy-Storage.News[3]

NSW 2033–34年の供給信頼度ギャップ推計（MW）



機関・シナリオ別。出典：Energy-Storage.News[4]

分析

- Summerfieldは着工前に放電時間を2時間から4時間へ延ばし、10年オフテイクと組み合わせました。「契約＋長時間化」の典型で、NEMの裁定スプレッド縮小の流れと一致しています。
- NSWの8時間要件が最終的に残れば、4時間蓄電池は他の収益（CIS、トーリング、アンシラリー）で支える必要があり、長時間蓄電の開発者には新たな契約機会となり得ます。
- 家庭用蓄電池がスパイク時に一斉に放電し、AEMOの給電指令も受けないため、価格変動が増幅されます。系統用蓄電池の裁定にとっては機会であると同時に不確実性でもあります。

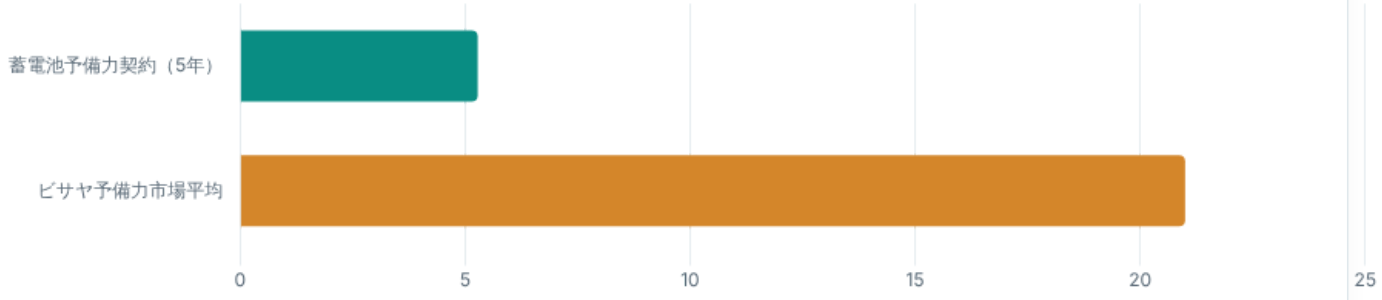
フィリピン

5年契約で信頼性を買う

確認済みの事実

- ERCは10/9に暫定承認、10/12に公表：NGCPとEast Asia Utilities Corp.（AboitizPower子会社）の蓄電池予備力契約。セブ州マクタン、44.72 MW、最大13 MWの調整予備力＋13 MWの緊急予備力、5年、暫定料金PHP 5.28/kWh。[2]
- ビサヤ予備力市場の平均価格は約PHP 21/kWh。[2]

ビサヤ予備力：契約価格 vs 市場平均（PHP/kWh）



市場平均は「約PHP 21/kWh」で、21として描画。出典：Daily Tribune[2]

分析

- 契約価格は市場平均の約4分の1にすぎず、規制当局が長期契約で消費者コストを抑えようとしていることを示しています。投資家は収益の確実性を得る代わりに、高いスポット価格による上振れを放棄します。

日本

LTDA案件の進む順序

確認済みの事実

- 野津案件（大分県臼杵市、50 MW/196 MWh）はFY2023 LTDAで落札し、20年のCPI連動容量契約を獲得。9/14にあおぞら銀行のノンリコース融資でファイナンシャル・クローズ（金額非開示）。10/14にTrina Storageによる供給を公表、2028年第3四半期完工予定。[6]

分析

- 「落札 → ファイナンシャル・クローズ → 設備確定」という順序が日本のLTDA案件の標準ルートです。貸し手の次の関心は建設の進捗とLTDAの履行要件、特にCOD期限です。

韓国・シンガポール・台湾

その他の市場

韓国

- 第3回中央契約ESS入札（1,180 MW / 7.08 GWh）は入札期間中で、11/11締切。今週は確認可能な新たな公開進展はありませんでした。[8]

シンガポール・台湾

- 今週は確認可能な系統用蓄電の重要な公開進展は見つかりませんでした。

今後の注目点

日程

日付	市場	事項
11/03、11/10	PH	ERCがNGCP–EAUC蓄電池予備力契約の公聴会を開催
11/04	AU	NSW ASL 1,500 MWファーミング入札の意見募集締切
11/11	KR	第3回ESS中央契約入札締切
2027年初め	AU	ASLファーミング入札の正式開始（見込み）

出典

資料出典

1. ABC News「Spring heatwave and coal outages deliver $2m payday for home battery owners」2026/10/17。abc.net.au
2. Daily Tribune「ERC clears Cebu battery deal to ease Visayas power risks」2026/10/12。tribune.net.ph
3. Energy-Storage.News「e-STORAGE commissions 960MWh BESS in South Australia for CIP; Gotion delivers for Lightsource hybrid in Queensland」2026/10/15。energy-storage.news
4. Energy-Storage.News「Australia's ASL opens consultation on 1.5GW firming tender」2026/10/15。energy-storage.news
5. Energy-Storage.News「Hazelwood BESS expansion in Australia set to double storage capacity at former coal site」2026/10/20。energy-storage.news
6. ESS News「Trina Storage to supply 196 MWh battery in Japan」2026/10/14。ess-news.com
7. Energy-Storage.News「AGL refers 500MWh Abermain BESS in Queensland to Australia's EPBC Act」2026/10/16（見出し情報のみ引用）。energy-storage.news
8. 조달경제신문「ESS 3차 입찰 1,180MW 확정」2026/09。jodaleconomy.com

本レポートは公開情報に基づいて作成し、「確認済みの事実」と「分析」を区別して表示しています。分析は筆者の見解であり、投資・与信・法律上の助言ではありません。非開示の金額・料金・契約条件は非開示と表記し、推測はしていません。